科目ナンバリング	U-LAS03 10007 SB48						
授業科目名 <英訳>	外国文献講読（法・英）II-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)II-E1			担当者所属 職名・氏名	法学研究科　准教授　宇治　梓紗		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究		使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金4	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本演習では、主権国家を取り巻く国際政治経済秩序への理解を深める。そして、今日のグローバル化した世界について、政治、経済の側面から多角的かつ理論的に考察することを通じ、学問的な素養を身につける。また、政治学の専門書の読解力の基礎を養い、英語文献への抵抗を払拭する。

本科目では、文献の精読が求められるが、英文の逐語訳をするのではない。むしろ、各段落・セクションの論理構造と大意を捉えた上で、筆者の主張について考察し、自分なりの見解を導くことを目指す。というのは、英語で読解した内容を消化した上で「アウトプット」へとつなげることが、今日の社会で求められるスキルだからである。

本演習で扱う文献は、理論的な要素は抑えられおり英文は読みやすい。したがって、読解内容を踏まえつつ、ニュースで取り上げられるグローバル課題について独自に調べて考察する姿勢が期待される。

[到達目標]

・政治学に関する英語文献の読解力と考察力を身につける。
・今日のグローバル課題を、政治経済学的な視点から学問的に捉えることができる。

[授業計画と内容]

第1回目 イントロダクション
授業の進め方、文献の内容紹介のほか、講読にあたり必要な基本知識の解説を行う。

第2~13回目 テキスト講読
各回、要約担当者とディスカッションリーダーをそれぞれ4人程度割り当て、アサイン箇所の要約と内容に関わるディスカッショントピックを事前に提出してもらう。(一人あたりの要約担当箇所は6~7ページ程度)。
授業では、履修生に問いかけながら本文の構造と要点の内容確認を行うとともに、用意されたディスカッショントピックに対する履修生の考えを簡単に述べてもらう。

おおよそ、以下のテーマを扱う。

・市場と国家
・今日のグローバリゼーション
・自由貿易理論
・国際貿易制度
・政治のトリレンマ
・グローバルガバナンスの可能性
・資本主義の再考

第14回 まとめ

外国文献講読（法・英）II-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献講読（法・英）II-E1(2)

≪期末レポート試験/学習到達度の評価≫

第15回 フィードバック(具体的な方法については別途連絡します)

[履修要件]

外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。

[成績評価の方法・観点]

平常点(要約、ディスカッションリーダーとしての貢献、授業時の発言、出欠等)および期末レポートの点数により評価する。詳細は授業中に説明する。

[教科書]

Dani Roderick 『The Globalization Paradox』（WW Norton &Company, 2011）**（本授業で扱う章のみPDF版を配布するので、各自で用意する必要はない）**

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習としては、教科書の中で事前に指定したページを、その回の担当であるかを問わず全員が事前に読み、疑問点や感想、ディスカッショントピックに対する自分なりの考えを用意してくる。

[その他（オフィスアワー等）]

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。
また、授業中に、インターネットを通じて、課題を提出してもらうことがあるため、アクセスすることができるデバイス（パソコンやタブレットが望ましい）を持参すること。